自分らしく選択! ジェンダーレスな制服へ

近年、ジェンダーレスやLGBTQという言葉を聞く機会が増えてきている。少し前までは「男だから」「女なのに」といった性別に対しての固定概念が強く根付き、自分の性に対して違和感を持っていても言い出しづらい社会だった。しかしそのような社会も変わりつつあると感じる。その例が「ジェンダーレス制服」だ。

女子でもスラックスを履いてもよい、リボンではなくネクタイでもよいなど、これまでとは違い自らを表現するために組み合わせを変えてもよいものだ。緑南中学校でも令和六年度に向けて、現在、新しい制服の検討が進んでおり、アンケートも実施された。もちろんジェンダーレスに対応したものになる予定だそうだ。ジェンダーレス制服は二〇一八年に千葉県の公立中学校での導入から、あっという間に全国に広がった。

このような取り組みが自分の性などに関する悩みを抱えた人たちの助けになっていると思う。しかし、世の中にはまだ偏見を持つ人々はたくさんいることだろう。そんな中で、自分を表現することは勇気のいることだが、勇気を持たなくても自然に自分を表現できる社会に、一日も早くなってほしい。ところで、私たちのクラスでのスマホ使用状況を調べた。調査した三八人中、スマホを持っている人は三五人、平均使用時間は一日三・二八時間だった。

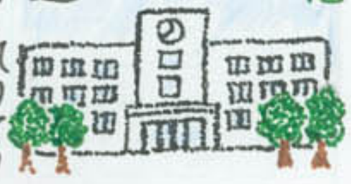
新制服のイメージ(未決定)

緑南中学校は来年度から七年かけて校舎の改築工事が始まる。緑南中学校は建設されてから四七年経っており、校舎が痛んでいる部分が多くみられる。

そこで、実際にどこを改築するのかを教頭先生に聞いてみた。すると、教室、トイレ、廊下、体育館の順に工事をするそうだ。けがをしても使えるバリアフリー化もされるそうだ。校舎改築が終わるころ、私たちは二二歳になっているが、どんな校舎になっているのか、ぜひ見に来たい。未来の緑南中生がより快適に過ごせる校舎になっていることを願う。(酒井)

危険な窓のないドア

校舎改築へ 進むバリアフリー化



スマホ依存! 気を付けて使い方、見直そう!!

私たちの生活に欠かせないものとなっているスマートフォン(スマホ)。連絡を取り合ったり、ゲームやネットショッピングなどとても便利だが、日本ではスマホ依存症になっている人が年々増加している。

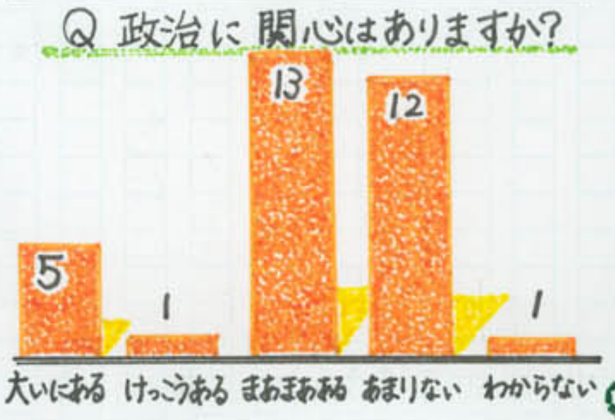
スマホ依存症とは使用なくなると精神が落ち着かなくなる状態のことを言うそうだ。

ところで、私たちのクラスでのスマホ使用状況を調べた。調査した三八人中、スマホを持っている人は三五人、平均使用時間は一日三・二八時間だった。

入試が近づいている私たち三年生は、スマホ依存に気を付けながら生活していきたい。この先、長く付き合っていくスマホ。私たちの生活を便利でより良いものになるように使いたい。みなさんもスマホの使い過ぎは控えよう。(山本)

大切な一票 未来を動かす!

現在、若者の投票率は低い状態だ。ではなぜ若者の投票率は低いのだろうか。一説には選挙に対する心理的抵抗があるからだと言われる。「投票所がどんなところかわからないから行きたくない」という声がある。そこで有効なのが「子連れ選挙」である。平成一八年から、投票所に入れる子どもの年齢が一八歳未満まで引き上げられたので私たちも親の投票に同行できるのである。私たちももう三年後には投票できる年齢になる。その時になって考えるのではなく、今から投票に同行したりして選挙に慣れたり、政治に関心を持ったりすることが大事だと思う。たった一票を思わず、必ず選挙に行こう。(奈良)



編集後記

今回も分担・協力して仕上げた「不屈」二学期最大のイベントである文化祭も大成功に終わった。記事から、クラスの絆の深まりを感じた。これから行う球技大会も声をかけあい盛り上げていこう。

卒業まで五〇日を切った。三Aの解散の日が近づく。縁があって出会った仲間、担任の稲見先生と過ごす時間を大切に生活していきたい。(上野)

制作メンバー